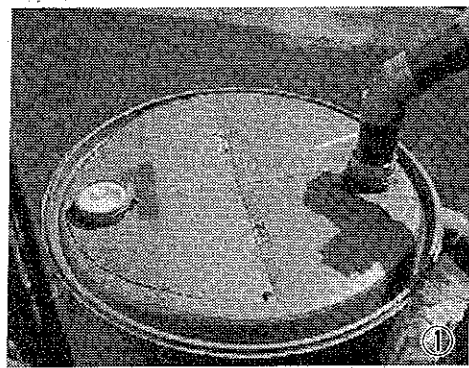


やってみよう！ DIY日曜大工

雨水タンク

蛇口をひねり水道水が出るまでには、水道の諸施設でかなりのエネルギーを必要とし、それだけCO₂を排出していることになる。節水はエコ生活の基本だが、水まきや洗車に雨水を再利用すれば、よりの多くの節水が可能だ。そこで今回は雨水タンクを作る！

【ステップ1】ポリタンクを加



1度雨が降れば満杯220リットル

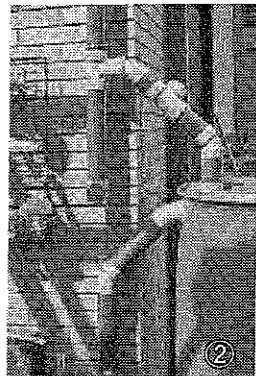
工する

ワイン運搬に使われていたもので価格は2500円。貯水用タンクを買おうと1万円以上するが、ネットで探せば安く手に入る。

タンク上面を半月型に切り取りちようつがいを着けてふたに。さらに塩ビの給水管の大きさに合わせて穴を開ける。タンクの上部側面にはオーバーフローした水を導くパイプ穴、下部にも蛇口を取り付ける穴、底面にはタンクにたまったゴミなどを排出するドレン用の穴など、合計4カ所の穴を開ける。写真①。

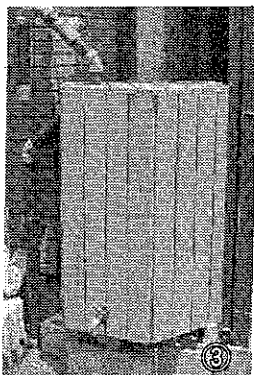
【ステップ2】雨どいを途中で切断し給水パイプをつなぐ

タンクの上面から約40センチで雨どいを切断し塩ビパイプ・継ぎ手を



加工して雨水をタンクに導く。途中にゴミ除けの金網を設置。雨どいの切断部分から下に残した30センチ部分は土砂だまりとし、下部に栓をつけたまった土砂を取り除く。タンク上部に着けたオーバーフローした雨水を導くパイプは、切断した本来の雨どいの残り部分に接続する。写真②。

【ステップ3】囲いをして完成



このままでもOKだが、見栄えを考え木の囲いをつける。タンクの容積は220リットルで屋根面積にもよるが、1度雨が降ればほぼ満杯に。植木の水やりや車の洗車に十分使える量だ。写真③。

製作過程は以下のHP参照

http://csx.jp/~seyatosan/usui.html

水まきや洗車に再利用して節水